



熊本市第8次総合計画 概要版

2024.4 ▶ 2032.3

感じる計画! PLAN^{to}FEEL!

市長あいさつ



熊本市長 大西一史

皆さんは、熊本市の未来をどのように想像しますか？
私は、勇壮な熊本城の下に広がる活気ある中心市街地、豊かな自然とあたたかな地域の中でのびのび育つ子どもたち、国内外の人々を惹き付ける歴史・文化やおいしい農水産物など、熊本市のたくさんの魅力がこの先もずっと輝き続けるまちであって欲しいと考えています。

一方で、近年、激甚化・頻発化する自然災害、進行する少子・高齢化や人口減少、さらには、不安定な国際情勢など、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化していることから、これらに伴う諸課題に真摯に向き合いながら、熊本への半導体関連企業の進出といった千載一遇の好機を的確に捉えて、未来への礎づくりを着実に進めていかなければなりません。

そこで、めざすまちの姿である「上質な生活都市」の実現に向けて、本市の長期的なまちづくり計画である第8次総合計画を策定しました。

この総合計画には、私のマニフェストにも掲げている、あらゆる自然災害による被害からの脱却や、こども・子育て分野をはじめとした様々な分野におけるDX推進等による市民サービスの向上、自動車交通と公共交通のベストミックスによる交通渋滞の解消、農水産業の発展のための都市基盤の整備などを盛り込んでいます。

皆さんの中には、市の政策など自分には関係ないと距離を感じていらっしゃる方も多いかもしれませんが、しかし、この総合計画に魂を吹き込むためには、行政だけでなく、地域、そしてここに住む市民の皆さんの力が必要であると考えています。

まちづくりの羅針盤でもあるこの総合計画を、ぜひ手にとり、そしてこの計画を自分事として感じていただき、共に素晴らしい熊本市を創り上げていきましょう。

令和6年(2024年)3月

めざすまちの姿 —上質な生活都市—

豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、あたたかいふれあいに満ちた地域の中で、
お互いに支え合いながら心豊かで幸せな暮らしが営まれ、災害に強くだれもが安心して暮らせるまち。
そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽しんでいるまち。
そのような、市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたくなるまち、「上質な生活都市」を、私たちは目指します。

まちづくりの基本理念

まちづくりの原点は、「地域」、そして、そこに暮らす「市民」です。

個人の権利や自由が尊重される一方で、人と人とのつながりが希薄になりやすい時代と言われていますが、
本市においては、甚大な被害をもたらした平成 28 年（2016 年）熊本地震（以下、「熊本地震」という。）の混乱の中においても、
行政をけん引する形で市民が自然発生的に活動し、

地域やコミュニティで連携しながら、困難を乗り越えてきました。

また、新型コロナウイルス感染症の流行は、心豊かな生活には、人と人、
地域やコミュニティとのつながりが不可欠であることを再認識する契機ともなりました。

本市を取り巻く情勢は目まぐるしく移り変わり、様々な課題はありますが、
私たちはこれらを克服しながら「上質な生活都市」を実現し、次の世代に引き継いでいかなければなりません。

そのために、「市民」と「地域」、そして「行政」が、それぞれが果たすべき責任や役割を担いつつ、
互いに支え合う成熟した地域社会を基盤としたまちづくりに取り組んでいきます。

熊本市の現状

他の政令指定都市と比較して、本市の現状を分析しました。

(各指標を偏差値化し、比較可能な状態にしました。値が「少ない」「低い」方が良好な状態を示す指標(※)は、平均よりも良好な状態であれば偏差値50以上になるように設定しています。)

行政経営

▶ 税収は少なめだが、財政運営は良好

経常収支比率

政令市6位

財政力指数

政令市18位



都市基盤

▶ 生活環境は良好だが、交通渋滞が恒常化

1住宅当たり延べ面積

政令市5位

道路実延長(市域面積1km当たり)

政令市10位



生活・医療

▶ 地域コミュニティ活動が活発で、医療も充実

一般病院病床数(人口10万人当たり)

政令市1位

町内自治会加入率

政令市3位



環境

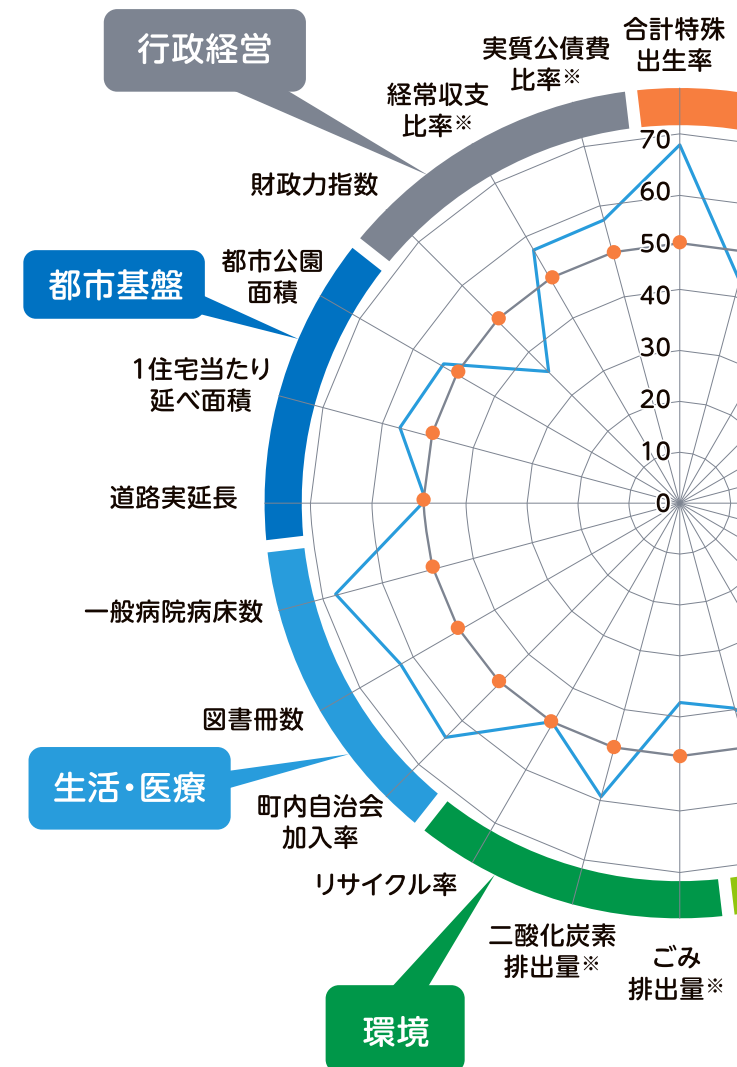
▶ 清らかな地下水と豊かな緑に恵まれている

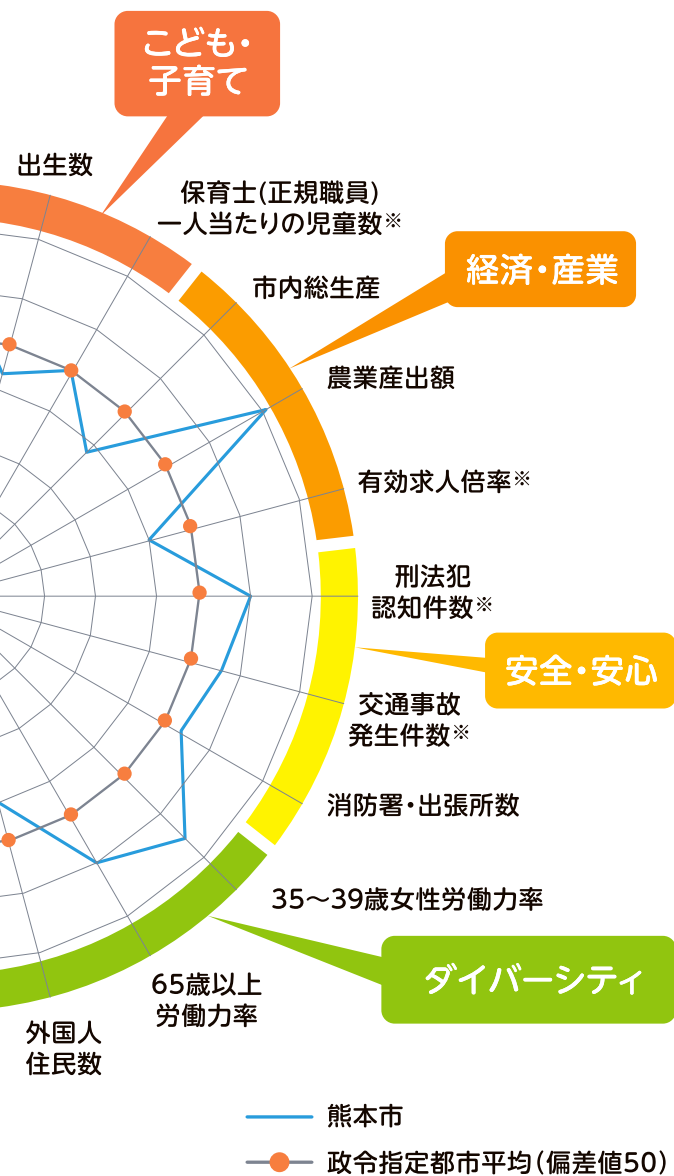
二酸化炭素排出量(人口一人当たり)

政令市3位

リサイクル率

政令市10位





こども・子育て

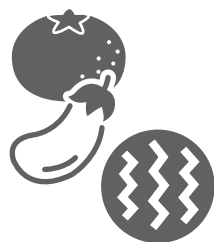
▶ 合計特殊出生率が高いが、
保育士一人当たりの児童数が多い

合計特殊出生率

政令市2位

保育士(正規職員)一人当たりの児童数

政令市17位



経済・産業

▶ 農業が盛んで、半導体で地域経済発展の好機だが、
人手不足が深刻化

農業産出額(人口一人当たり)

政令市3位

労働者(パートタイムを含む)の有効求人倍率

政令市15位



安全・安心

▶ 治安がよく安全・安心

刑法犯認知件数(人口千人当たり)

政令市2位

消防署・出張所数(人口10万人当たり)

政令市7位



ダイバーシティ

▶ 女性と高齢者の労働力率が高い

35～39歳女性労働力率

政令市2位

65歳以上労働力率

政令市5位

都市整備の方針

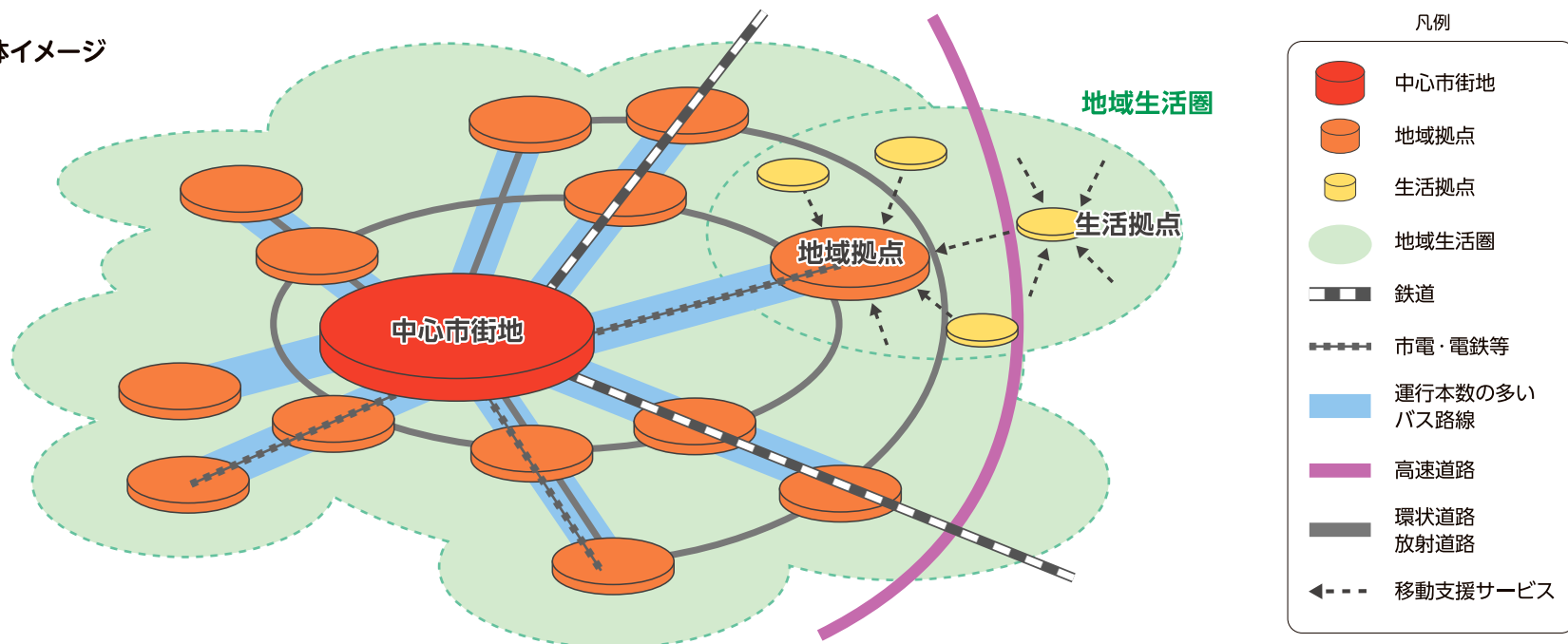
●都市整備の方針における基本的視点

都市の骨格を形成する中心市街地及び地域拠点に、市民が日常生活を営む上で欠かせない都市機能等を維持・確保し、これらを利便性の高い公共交通で結んだ、「多核連携都市」を都市構造の将来像として掲げています。

●都市空間の構成方針

『多核連携型の都市空間』の構成により、日常生活サービス機能や公共交通が将来にわたり維持され、郊外部を含めた地域生活圏全体の居住者の暮らしやすさを確保します。

都市空間の全体イメージ



「昼も夜も歩いて楽しめる魅力的な都市空間」を創出します。

歴史・文化、豊かな自然や
農業・漁業生産環境などと
市街地や幹線道路網などの
機能性の高い都市空間が調
和した均整のとれた都市形
成を図ります。

豊かな水と緑、歴史文化に彩られた「森の都くまもと」の復活と定着を目指します。

豊かな水と緑、歴史文化に彩られた「森の都くまもと」の復活と定着を目指します。

「10分・20分構想」等の新たな広域道路ネットワークの形成により、体系的な交通軸を確立し、円滑な都市活動と快適な都市生活の実現を目指します。

凡例

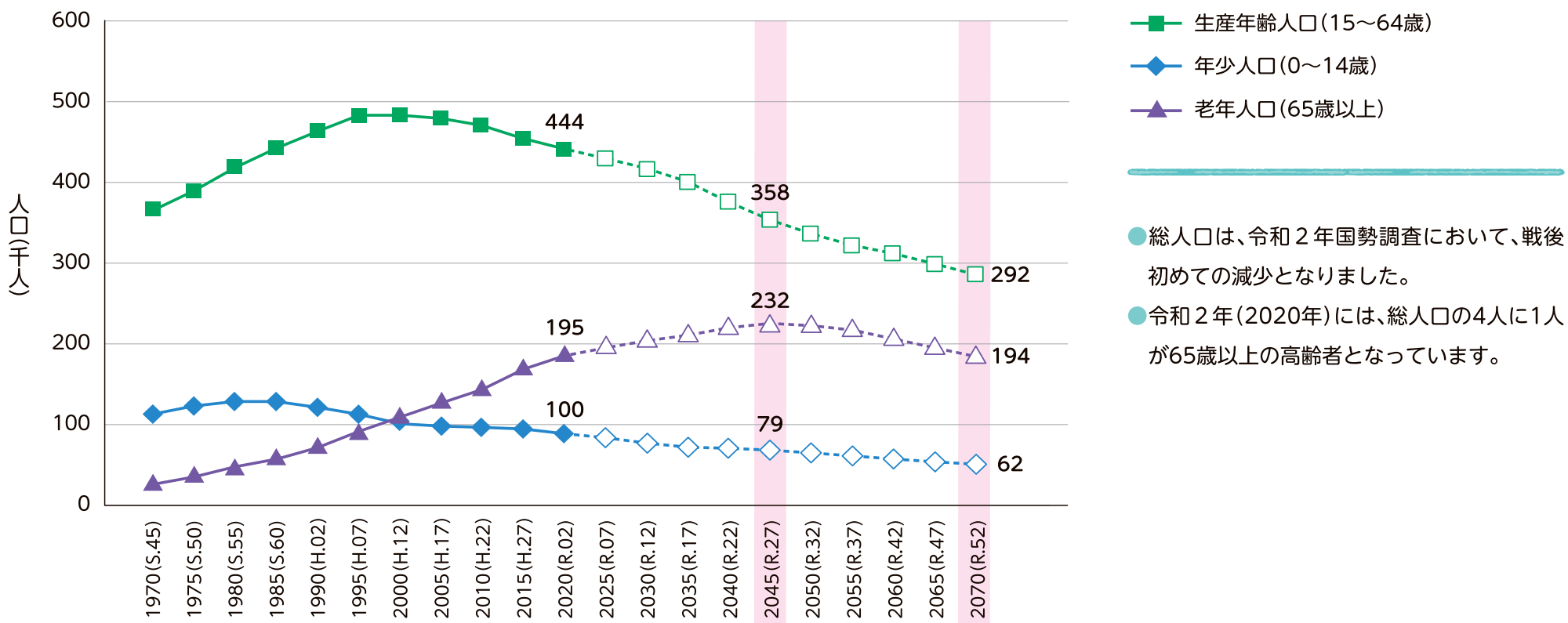
- 中心市街地
- 地域拠点
- 交通結節点（主な鉄道駅）
- 交通結節点（IC、JCT）
- 高速道路
- 放射道路
- 環状道路
- その他の道路
- 10分・20分構想(熊本市圏3連絡道路)
- 新幹線
- JR
- 熊本電鉄
- 市電
- 空港・港
- 空路・航路
- 主要な河川
- 市街化区域
- 自然環境との共生
- 農業生産環境などとの共生

6

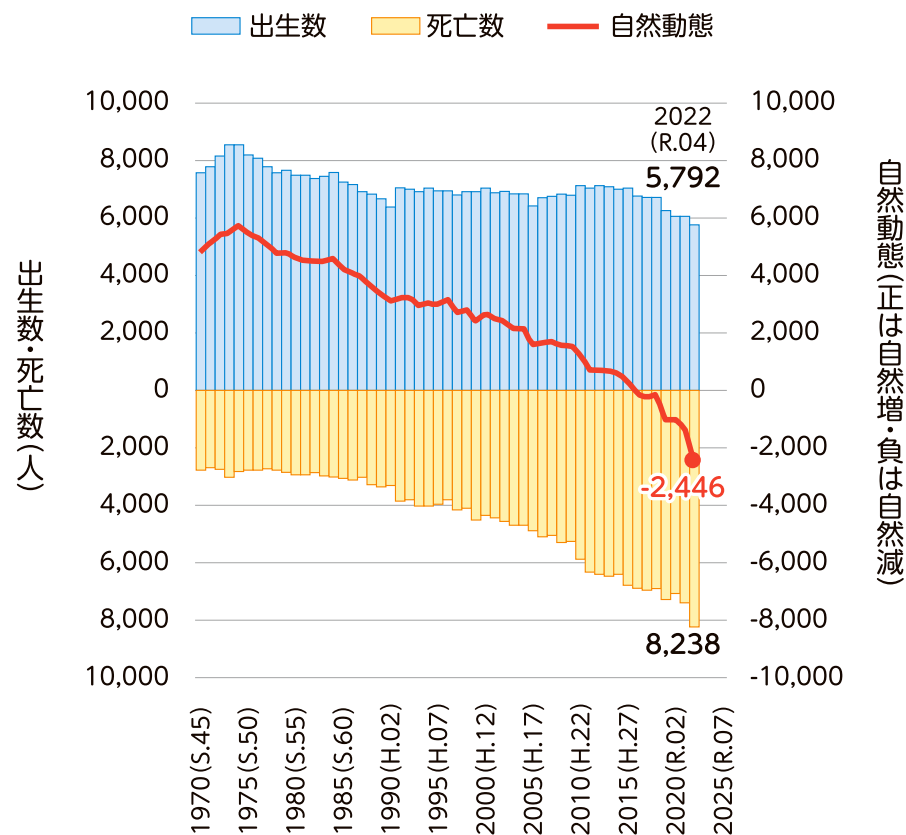
人口減少への対応

全国的な傾向と同様、本市の人口も当面の間、減少する見込みであり、老年人口は2045年頃まで増加を続け、その後横ばいで推移し、高齢化率も36.1%まで増加して、その後高止まりとなる見込みです。これに伴う様々な経済的・社会的影響が想定されることから、人口減少への対応を本市における最重要課題として位置付け、多方面から様々な対策を講じていきます。

熊本市の人口の将来推計【年齢3区分別人口(合併組替人口※)】 ※合併等に伴い、旧市町村単位の人口を現在(2023年)の市町村域に組替えた人口

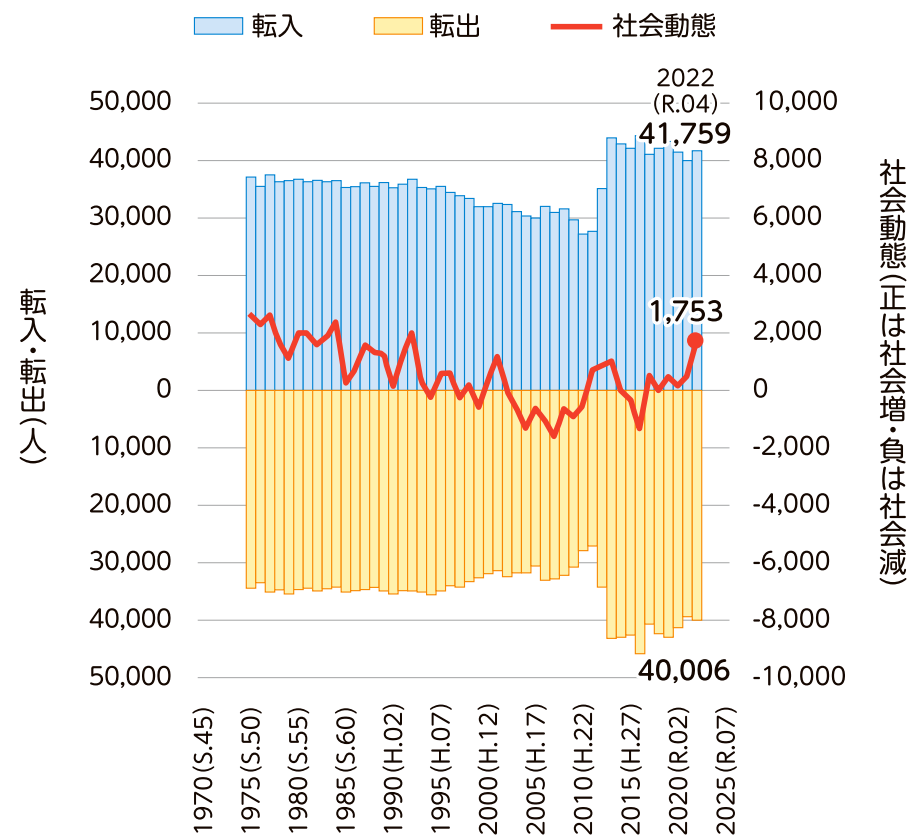


出生数・死亡数と自然動態(当時市域)



- 死亡数と出生数の差は、2016年以降、死亡超過の状況です。
- これは、高齢化に伴い死亡数の増加が続いている一方で、出生数が第二次ベビーブーム(1970年頃)をピークとして減少傾向が続いているためです。

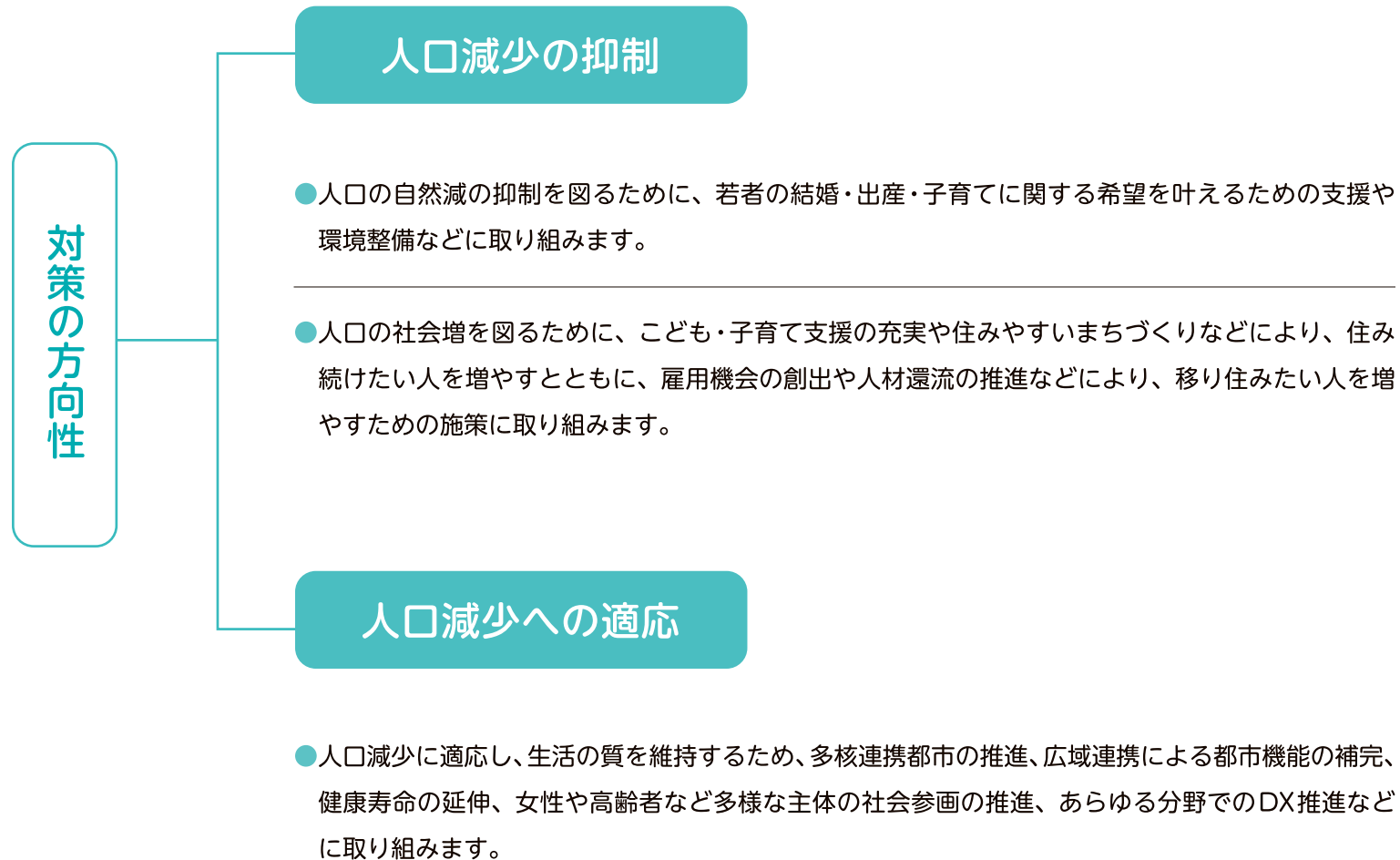
転入・転出と社会動態(当時市域)



- 転出数と転入数の差による社会動態については、近年、転入超過の状況です。
- しかし、男性は20～24歳において、女性は20～34歳において転出超過となるなど、若い人の転出が多い傾向です。

●地方版「デジタル田園都市国家構想総合戦略」として

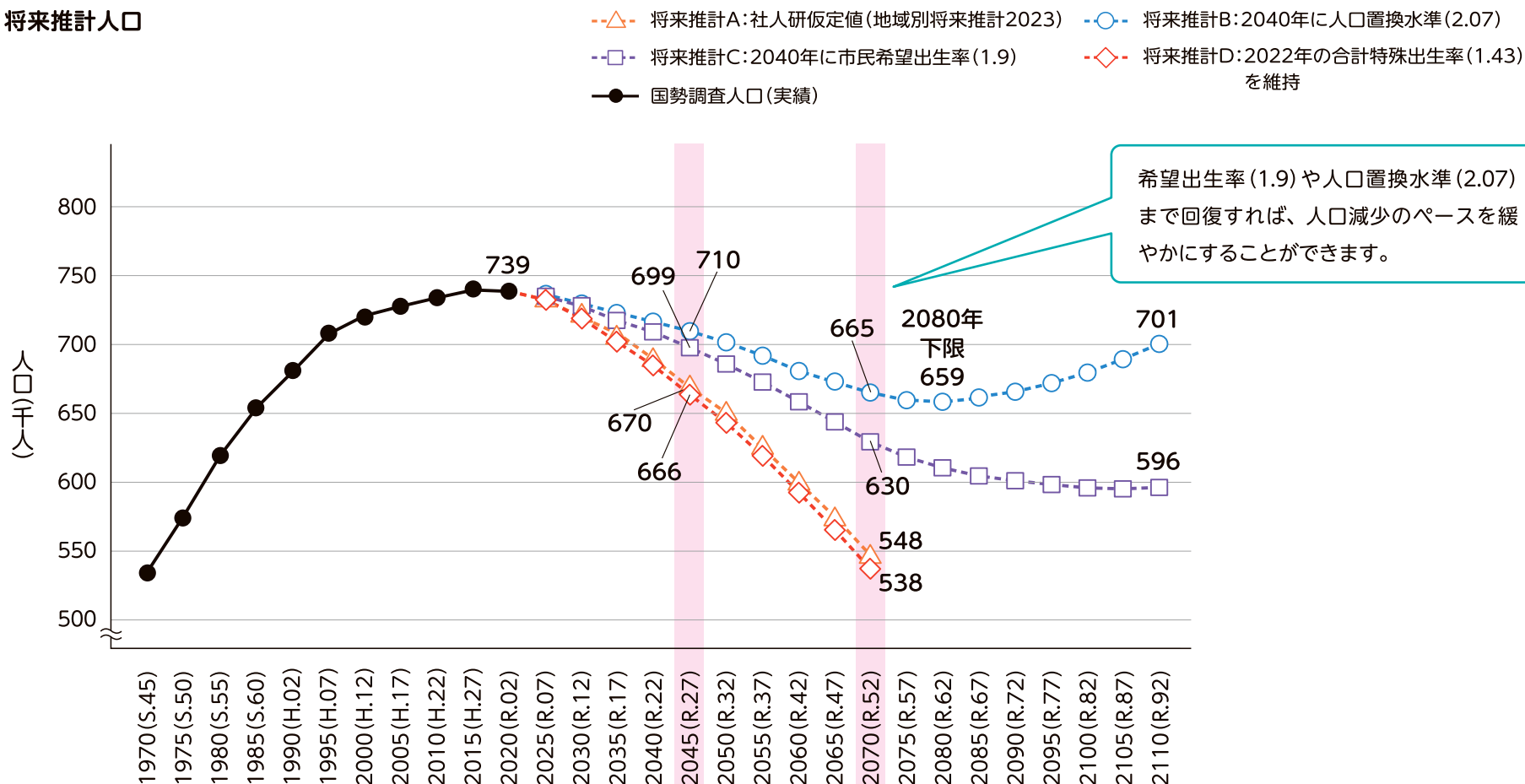
本計画は、地方版「デジタル田園都市国家構想総合戦略」としても位置付け、以下の方向性で人口減少に対して取り組みます。



将来推計(シミュレーション)

- 4つのパターンで本市の人口の将来推計を行いました。
- いずれの推計においても、総人口、年少人口、生産年齢人口の減少は当面継続の見込みです。
- 老年人口は2045年頃まで増加し、その後横ばいとなり高齢化率も最大で36.4%まで増加し、その後高止まりとなる見込みです。

将来推計人口



第8次総合計画

1

こどもが輝き、
若者が希望を
抱くまち

2

市民に愛され、
世界に選ばれる、
持続的な発展を
実現するまち

3

市民生活を守る
強くしなやかな
まち

4

だれもが
自分らしくいきいきと
生活できるまち

8つのビジョン実現に向けて3つの横断的な視点を持って取り組みます。

の8つのビジョン

5

豊かな環境を
未来につなぐまち

6

すべての市民が
より良い暮らしを
営むまち

7

安全で良好な
都市基盤が
整備されたまち

8

市民に信頼
される市役所

「SDGsの推進」「デジタル化、DXの推進」「市域を越えた広域的な連携の強化」

ビジョン 1

こどもが輝き、若者が希望を抱くまち



ビジョン1がめざす姿と取組の方向性

こどもの笑顔があふれ、若者をはじめとした多様な人々が希望を抱いて暮らすことができるまちを目指し、結婚、妊娠、出産などの希望を叶えるための支援とともに、こども基本法の理念にのっとり、こどものいのちと権利を守り、こどもの健やかな成長と安心してこどもを産み・育てることができる環境の整備を進めます。

また、すべてのこどもの最善の利益を確保するため、困難な状況にあるこどもや子育て家庭を支援する取組を進めるとともに、こどもを主体とした教育を推進します。

さらに、次世代を担うこどもや若者はもとより、女性や高齢者、障がいのある人、外国人などの多様な人材が活躍できる環境の整備を進め、人材の定着と移住の促進を図ります。

●● ビジョンを実現するための施策

1-1 すべてのこどもの健やかな成長と家庭の幸せへの支援	すべてのこどもに笑顔があふれ、子育てに夢や希望を持てるまちをつくります。
1-2 困難な状況にあるこどもや子育て家庭への支援	困難な状況にあるこどもや子育て家庭に適切な支援が行き届き、すべてのこどもの最善の利益が確保できるようにします。
1-3 こどもを主体とした教育の推進	充実した教育環境のもと、こども一人ひとりを尊重した教育を通して、これからの時代を切り拓くこどもを育てます。
1-4 まちを支える人材の確保・育成	性別、年齢、国籍などにかかわらず、多様な人材がそれぞれの能力をいかすことができる、住んでみたい・住み続けたいまちをつくります。

(関連するビジョン) ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち／ビジョン4 だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち／ビジョン6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち



ビジョン2がめざす姿と取組の方向性

市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまちを目指し、半導体関連企業等の進出を背景に、企業誘致や創業支援、中小企業の基盤強化など地域経済全体の発展に取り組みます。

また、本市への注目や旅行需要の高まりを契機に、豊かな水と緑、良質な農水産物、歴史と文化、にぎわいに満ちた中心市街地など、本市の様々な魅力を磨き上げます。

さらに、活発な経済活動を支える広域交通ネットワークの形成に取り組むとともに、活力と魅力に満ちた持続可能な農水産業の振興にも取り組みます。

●● ビジョンを実現するための施策

2-1 半導体関連産業等への新たな投資の後押しや中小企業等の振興	半導体関連企業の進出を好機として様々な企業が集積し、スタートアップが連鎖的に生まれ、中小企業が力強く活躍し続ける、ビジネス拠点としての地位を確立します。
2-2 世界を魅了する都市ブランド力の向上	豊かな水と緑、歴史と文化、にぎわいに満ちた中心市街地など本市の魅力を最大限に引き出し、世界が憧れ、市民が誇りを感じるまちをつくります。
2-3 交流人口拡大によるにぎわいの創出	本市の様々な魅力を最大限にいかし、人を呼び込み、地域経済の活性化とにぎわいの創出につなげます。
2-4 広域交通ネットワークの形成による物流・人流の円滑化	都市の活発な活動を支える広域交通ネットワークの形成により、ヒトとモノの流れを円滑化し、流動性を高めることで、経済発展を加速化するとともに、地域の潜在力を引き出します。
2-5 活力と魅力に満ちた持続可能な農水産業の振興	経営向上に挑戦する農漁業者を応援するとともに、安全・安心で良質な農水産物を国内外にアピールすることで、農水産業の持続的な発展を目指します。

(関連するビジョン) ビジョン5 豊かな環境を未来につなぐまち／ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

ビジョン 3

市民生活を守る強くしなやかなまち



ビジョン3がめざす姿と取組の方向性

あらゆる危機事象から市民の生命と健康、暮らしを守る強くしなやかなまちを目指し、熊本地震や過去の風水害、新型コロナウイルス感染症などへの対応で得た教訓を踏まえ、市民や地域、民間事業者と協力しながら、ハード・ソフト両面の対策に取り組めます。

さらに、安全・安心なまちづくりに向け、交通安全・防犯、消防・救急体制の整備を進めるとともに、質の高い救急及び医療体制の充実を図ります。

●● ビジョンを実現するための施策

3-1 防災・減災の推進	これまでの災害の教訓をいかし、地域防災力の最大化に努めながらハード・ソフトの両面から対策を進め、激甚化する災害や多様化する危機事象から市民生活を守ります。
3-2 保健衛生体制の強化と医療提供体制の確保	新型コロナウイルス感染症の経験をいかし、感染症等の健康危機発生・拡大に迅速に対応できる保健衛生体制の強化を図ります。また、関係機関等との連携により、医療提供体制の確保、生活衛生の充実に努めます。
3-3 総合的な消防・救急体制の強化	消防・救急体制の更なる充実を図り、市民の生命と財産を守ります。
3-4 交通安全・防犯の推進	交通事故や犯罪などのない安全で安心して暮らせるまちづくり、犯罪被害者に優しいまちづくりを推進します。また、交通事故や犯罪被害に遭わないよう、平時から交通安全や防犯の啓発に取り組みます。

(関連するビジョン) ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち／ビジョン6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち／ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

ビジョン 4

だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち



ビジョン4がめざす姿と取組の方向性

だれもが自分らしく生きることができるよう、ダイバーシティ（多様性）を推進し、性別、国籍、出身地、年齢、障がいの有無などによって、差別や偏見を受けることがなく、人権が尊重され、お互いを認め合う人権尊重社会を実現します。

また、高齢者が生涯現役で安心して暮らすことができ、障がいのある人がいきいきと生活し、自分らしく活躍できる社会を推進するとともに、お互いがつながり支え合う地域づくり、誰一人取り残さない社会の実現に取り組みます。

さらに、男女共同参画の推進により、性別にかかわらず、だれもが自らの意思や意欲に応じて、社会のあらゆる場面で能力を発揮できる環境整備に取り組みます。

くわえて、増加する在住外国人と地域住民とが、お互いの価値観を尊重し合える暮らしやすいまちづくりを進めます。

●● ビジョンを実現するための施策

4-1 人権尊重社会の実現	人権に対する市民の意識が高まることで、お互いの権利が尊重され、だれもが自分らしく生活できるまちを実現します。
4-2 だれもが生きがいを持ち、お互いに支え合える社会の実現	年齢や障がいの有無などにかかわらず、だれもが生きがいと尊厳を持って暮らし、お互いがつながり支え合うまちをつくります。
4-3 男女共同参画の推進	固定的性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消により、性別にかかわらず、だれもが自らの意思と意欲に応じて、社会に参画できるようにします。
4-4 多文化共生の推進	本市に生活・滞在する外国人への、必要な情報の提供や様々な支援の充実とともに、国籍や言語の違いを越え、お互いの文化や価値観の相互理解と交流を促進することで、多文化共生を実現します。

(関連するビジョン) ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

ビジョン 5

豊かな環境を未来につなぐまち



ビジョン5がめざす姿と取組の方向性

「恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市」を目指し、清らかな地下水や大気、快適で安全・安心な生活環境の保全に加え、その環境をもたらす生物多様性の保全に取り組みます。

また、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動や生活様式を見直し、3R+リニューアブル(再生可能な資源への置き換え)の取組を進めながら、化石燃料等の枯渇性資源の消費を抑制し、環境への負荷が低減される循環型都市を目指します。

さらに、地球温暖化を防止するため、その原因となる温室効果ガスの排出を削減する取組を推進し、「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指します。

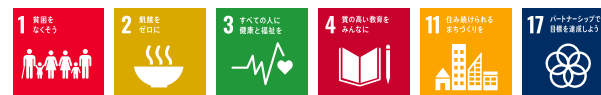
●● ビジョンを実現するための施策

5-1 カーボンニュートラルの実現	2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、温室効果ガスの排出を削減する地球温暖化対策を推進します。
5-2 生物多様性の保全と自然との共生	私たちの生活に様々な恵みをもたらす生物多様性の保全に向け市民・事業者の行動変容を促すとともに、生物多様性を維持・回復させることで、自然と共生する社会を目指します。
5-3 持続可能な循環型都市の実現	ごみの減量化や資源化などに取り組むことで、環境負荷の少ない、循環型都市を目指します。また、災害時においても安定した廃棄物処理体制を確立します。
5-4 快適で安全・安心な生活環境の保全	私たちの生活に欠かせない水や大気良好に保たれた快適で安全・安心な生活環境を保全します。また、人と動物が共生するより良い社会を目指して、動物の愛護と適切な管理、野生動物による生活被害への対策を推進します。

(関連するビジョン) ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち／ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

ビジョン 6

すべての市民がより良い暮らしを営むまち



ビジョン6がめざす姿と取組の方向性

すべての市民の生活の質の維持・向上のため、多様な人々が交流し、社会とつながる地域コミュニティづくりを支援します。

さらに、人生100年時代、すべての市民が健康で、学びやスポーツなどの生きがいを持ちながら豊かな人生を送ることができるよう支援するとともに、身近に文化芸術に親しむことができるまちづくりを進めます。

また、市民の安心を確保するため、社会保障制度を適切に運営します。

●● ビジョンを実現するための施策

6-1 地域コミュニティ活性化の推進	地域に住むあらゆる人々が主体的に関わり、行政や事業者などと協働しながら、互いに温かく見守り、支え合うことのできる、地域コミュニティを維持し、更なる活性化を推進します。
6-2 人生100年時代を生きるための健康づくりの推進	「自らの健康は自ら守る」という健康意識を更に高め、ライフステージに応じた市民の健康づくりの実践・継続を促すことで、健康寿命の延伸につなげます。
6-3 生涯にわたる学びやスポーツの推進	生涯にわたって学びやスポーツを楽しめる環境を整え、市民の成長と自己実現につなげ、その成果が地域でいかされるような環境をつくります。
6-4 文化芸術が持つ多様な価値の活用	本市が誇る歴史的文化的遺産が適切に保存されるとともに、文化芸術に触れる機会が多く提供され、多くの市民が文化芸術に親しめるまちづくりを進めます。
6-5 市民の安心を確保するための社会保障制度の運営	社会保障制度を適切に運営するとともに、生活困窮者への適切な支援ができる体制を整えます。

(関連するビジョン) ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち／ビジョン3 市民生活を守る強くしなやかなまち／ビジョン4 だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち



ビジョン7がめざす姿と取組の方向性

安全で良好な都市基盤の形成に向け、都市機能の維持・確保と適正な土地利用を推進し、人口減少社会に対応した、災害に強いまちづくりを進めるとともに、地域の特性をいかした良好な景観形成に努めます。

また、広域道路ネットワークや都市計画道路、幹線道路の整備を進めるとともに、効率的・効果的な維持管理に努め、良好な道路環境の実現に取り組みます。

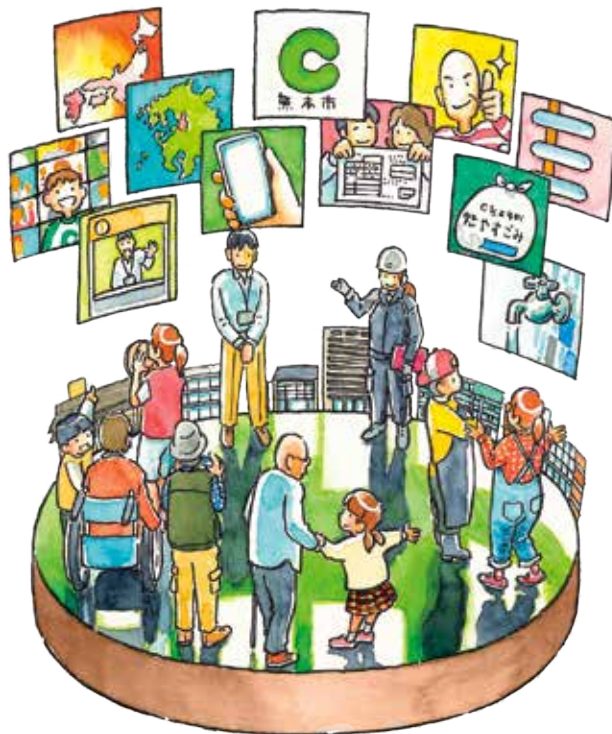
さらに、上下水道等のインフラの整備や、市有建築物の安全対策、良好な居住環境の形成、空き家対策に取り組みます。

くわえて、バス、市電、自転車などの交通モードと自動車交通の組合せにより、だれもが移動しやすいまちの実現に向けて取り組みます。

●● ビジョンを実現するための施策

7-1 持続可能で魅力的な都市づくり	バランスとメリハリの利いた土地利用の下、災害に強く、良好な景観が形成された多核連携都市を実現します。また、良好な道路環境の実現と持続可能で利便性の高い公共交通体系の構築による安全で快適な移動を実現するとともに、市有建築物の安全対策を推進します。
7-2 豊かな住生活の実現	生活様式や世帯構成の変化・多様化に対応しながら、防災・防犯上の心配が少ない、安心して暮らせる豊かな住生活を実現します。
7-3 安全で持続可能な上下水道サービスの提供	上下水道施設の適切な維持管理と計画的な整備を行うとともに、災害に強く、すべての市民が安心して利用できる上下水道サービスを提供します。

(関連するビジョン) ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち



ビジョン8がめざす姿と取組の方向性

市民に信頼される市役所の実現に向け、質の高い行政サービスを提供し続けます。

そのために、限られた行政資源を効果的・効率的に活用することで、行政サービスの質の向上に努めるとともに、将来にわたって持続可能な行財政運営を推進します。

また、多様化・複雑化する行政課題に対応するため、企画立案能力や課題解決能力の高い職員の育成に努めます。

さらに、市民の参画と協働を推進し、行政情報を広く発信しながら、市民の意見を政策に反映するとともに、行政情報の適切な管理、公開に取り組みます。

くわえて、近隣市町村をはじめ、政令指定都市や九州各都市、熊本県等と課題や目指すべき将来像を共有し、広域的な取組を強化します。

●● ビジョンを実現するための施策

8-1 行政サービスの質の向上と持続可能な行財政運営の推進	限られた行政資源を効果的・効率的に活用するとともに、職員の企画立案能力等を向上させることにより、行政サービスの質の向上に努め、将来にわたって持続可能な行財政運営を行います。
8-2 開かれた市役所の実現	市民が市政について知る機会が充実するとともに、多様な市民が市政に参画し、意見が政策に反映される開かれた市役所を実現します。
8-3 市域を越えた広域的な連携の強化	政令指定都市及び熊本連携中枢都市圏の連携中枢都市としての役割を果たしながら、他の市町村等との連携を更に強化し、広域的な課題を解決します。

区における自主自立のまちづくり

めざすまちづくり

少子・高齢化や人口減少が進行する中、持続的な地域社会を維持するためには、あらゆる住民がつながり、お互いが助け合い、支え合う住民主体の地域コミュニティがより重要となります。そこで、地域と一緒に課題の解決に取り組むなど、住民自らの創意工夫による自主自立のまちづくりを支援します。

まちづくり支援の方針

地域の魅力をいかした特色あるまちづくりの推進

つながり、支え合える環境づくりと
多様な主体の連携の促進

地域活動に参加しやすく、
生きがいを持てる仕組み作りの推進

デジタル技術の活用による
地域の課題解決・魅力向上

新たな出会いと未来創造の^{まち}都会 ～つながる、中央区。～

本市内のマンションの3分の2近くが中央区に存在し、マンション居住世帯数の割合が極めて高いことや、在住外国人が他区に比べ比較的多いことなど、地域に暮らす人々の価値観やライフスタイルが多様化していることを踏まえると、複雑化した地域課題に対応した新たな地域コミュニティの構築が求められています。

自然豊かな 笑顔あふれる未来のまち 東区

高齢化等の影響による地域団体の担い手不足や地域活動への参加者減少など様々な課題解決に向けて、地域貢献に積極的な事業者等が多いことなどをいかし、区役所と住民、事業者などが協働してまちづくりを進めていきます。

金峰望む 華のあるまち 西区

地理的特徴や都市構造の違いから、「金峰山系」「有明海沿岸」「上熊本周辺」「熊本駅周辺」「西部」の5つのエリア毎に課題を整理し、地域の実情に応じたまちづくりに取り組むことで、それぞれの地域力を高めていきます。

～みんなでつなぎ、みがき、ひろげる～ いきいき暮らしのまち 南区

区域内における人口増加地域と減少地域の二極化、慢性的な交通渋滞や利便性の低い地域公共交通、町内自治会・農漁業・文化活動などあらゆる分野の担い手育成などの地域課題解決に取り組む、地域の特性に応じた魅力あるまちづくりを目指します。

ず～っと住みたい“わがまち北区” ～歴史・自然・文化・人がつながり個性輝くまちをめざします～

隣接する菊陽町に、世界最大の半導体企業が進出したことで、今後、人口増加と地域経済の活性化が期待されます。これを好機と捉えて、各地域の良さを引き出すことで区全体の交流や区民と区役所の協働を更に促し、区民満足度の高い魅力あるまちづくりを進めていきます。

各区の特性

北区

区域内には、多くの河川や阿蘇山系の伏流水が湧き出す八景水谷水源等の湧水、金峰山系や立田山等の森林などがあり、自然環境が豊かな地域です。

また、米や野菜、花きや果樹、養豚などの多様な農畜産業が展開されており、特にすいかやメロンなどは地域の特産品として広く愛されています。

さらに、田原坂や武蔵塚などの歴史的な文化遺産や植木温泉等の観光資源も存在します。

西区

豊かな自然とその恵みにより、熊本ブランドであるみかんやノリなど農水産業が盛んであるとともに、歴史的遺産も数多く、祭りや神楽などの伝統文化が地域住民により継承されています。

また、人や物の交流拠点である駅や港、市民の台所である田崎市場などを有しています。

南区

四季を彩るのどかな田園風景を望み、なす・トマト・ノリ・ハマグリなどの豊かな農水産物、アクアドームなど健康づくりの拠点となるスポーツ施設、富合・城南工業団地、熊本流通業務団地及び新幹線熊本総合車両所など熊本の製造業・運輸業の拠点、国・県・市の指定文化財や史跡などの歴史的資源、身近に親しむことのできる山・川・海の自然など、多くの“たからもの”があります。

中央区

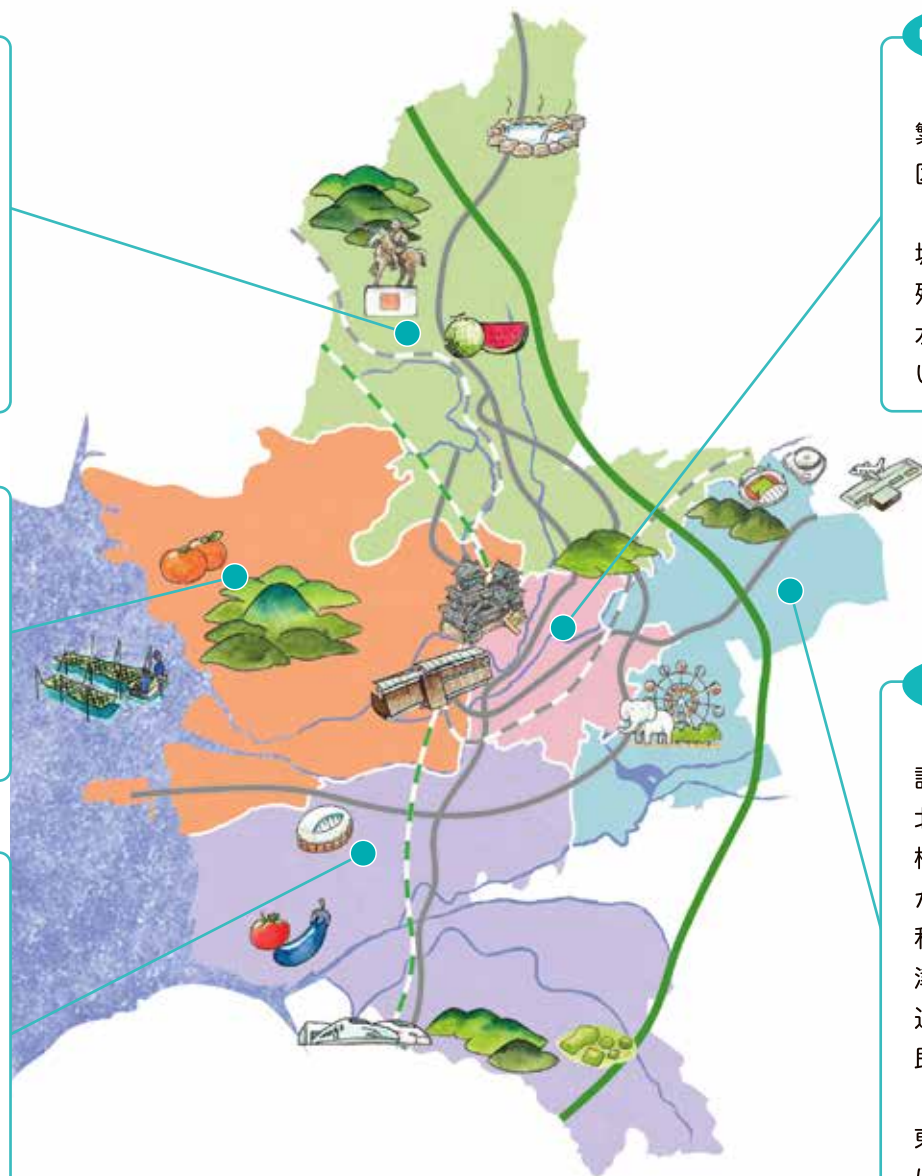
市役所本庁舎や県庁、西日本有数の繁華街を有する熊本の中心地で、ほぼ区の全域が市街地となっています。

一方で、熊本のシンボルである熊本城の下、風情・人情ある城下町の面影を残しているほか、立田山の豊かな緑、水前寺成趣園や江津湖などの湧水といった自然にも恵まれています。

東区

商業施設や医療機関、学校や福祉施設なども多く都会の姿を見せる一方で、北には託麻三山や運動公園、南には動植物園があり、その周囲に江津湖が広がるなど、都市の利便性と自然とが調和する住環境に優れた地域で、特に江津湖をはじめとした東区の自然は、身近で緑を感じられる憩いの場として市民に広く親しまれています。

また、熊本地震の被害が大きかった東区では、地域団体が主体となり防災に関する取組が活発に行われています。



●市民参画

第8次総合計画を市民の皆さんのニーズに沿った計画とするため、令和5年度に様々な市民参画の機会を設けご意見をお聞きし、計画へ反映させました。

① 市長とドンドン語ろう!

「次期総合計画の策定」をテーマに、各区において計5回の「市長とドンドン語ろう!」を開催し、延べ245名の方にご参加いただきました。

日程	実施時間	会場	参加者
7/16(日)	10:00-12:00	中央公民館【中央区】	64名
7/20(木)	18:00-20:00	西部公民館【西区】	56名
7/22(土)	15:00-17:00	動植物園緑の相談所【東区】	37名
7/24(月)	18:00-20:00	アスパル富合【南区】	45名
7/28(金)	18:00-20:00	植木文化センター【北区】	43名
			計 245名



② LINEアンケート

熊本市公式LINEアカウントご登録者(約13万人)に対してLINEアンケートを実施しました。

◆実施期間：令和5年(2023年)9月26日～10月25日

◆回答者数：1,504名

◆質問項目：Q1.お住まいの地区

Q2.年代

Q3.性別

Q4.「上質な生活都市」を実現するために、熊本市がもっと力を入れるべき分野(複数回答可)

Q5.Q4で選んだ分野について、具体的にどのような取組が必要か自由記載

Q6.その他、ご意見等(任意、自由記載)



熊本市公式LINE

③ 出張アンケート

第8次総合計画について、様々な世代からの多様な意見の把握を目的に、各区のイベントに出向いて出張アンケートを実施しました。

日程	実施時間	会場	参加者
10/21(土)	10:00-16:00	くま博2023【中央区】	116名
10/22(日)	10:00-12:00	城南ふるさと祭り【南区】	91名
11/11(土)	10:00-12:30	北区こどもまつり【北区】	61名
11/12(日)	13:00-15:30	西区にぎわいまつり【西区】	97名
11/18(土)	10:30-13:30	東区民祭り【東区】	113名
			計 478名



④ ワークショップ

熊本市の将来を担う学生とめざす将来像や課題を共有し、今後の熊本市の未来について考える機会を設けるため、出水中学校及び必由館高校でワークショップを実施しました。

日程	実施時間	会場	参加者
9/20(水)	13:55-14:55	出水中学校 1年生	19名
11/15(水)	15:25-16:30	必由館高校 2年生	34名
			計 53名

⑤ パブリックコメント

第8次総合計画の素案について、パブリックコメントを実施しました。

- ◆実施期間：令和5年(2023年)12月13日(水)～
令和6年(2024年)1月12日(金)
- ◆実施方法：意見提出用紙の電子メール・郵送・FAXによる提出
- ◆結果公表：令和6年(2024年)3月21日(木)
- ◆提出状況：人数 9名
件数 76件

● 審議会

市民の意見を踏まえた計画とするため、各分野の専門家や公募委員等で構成された審議会を設置し、本計画の策定に必要な事項を審議いただきました。

熊本市総合計画審議会 委員一覧 (50音順、敬称略、役職は当時のもの)

相藤 絹代	熊本学園大学 非常勤講師
貴田 雄介	公募委員
小林 寛子	東海大学 客員教授
澤田 道夫	熊本県立大学総合管理学部 教授
鈴木 桂樹	熊本大学 名誉教授
中山 峰男	学校法人君が淵学園 理事長・学園長
本間 里見	熊本大学大学院先端科学研究部 教授
増淵 千保美	尚絅大学短期大学部幼児教育学科 教授
八幡 彩子	熊本大学大学院教育学研究科 教授



●表紙イラストについて



表紙イラスト作者 **日比野 克彦** 氏

熊本市文化顧問・熊本市現代美術館館長
(現代美術家、東京藝術大学長)

(日比野氏からのコメント)

8人がひとつのりんごを描いた。
同じりんごを描いたのに出来上がったりんごの絵は同じじゃない。
8つの絵が8人のそれぞれらしい絵にみえてきた。
答えはひとつじゃないのがアートの力。
一人ひとりの違いは、その人らしさ。
らしさがたくさんあると自分らしさの色も増える。
らしさの色がたくさんあったほうが楽しい。

今回の熊本市の総合計画は、8年ぶりに新しくなる。
8回目の、8つのビジョンからなる計画。
8がたくさんあってなんだか面白い。
しかも8って輪っかがふたつ繋がっている。

輪っかがひとつだと寂しいけれど、
たくさんあると安定するし、
いろんな色がにじむとカラフルで楽しい気持ちになれる。
だから8色の水彩絵具で8つの輪を描いてみた。

ひとりひとりの色は周りの色々な色でより、その色らしさが見えてくる。
まちの未来もひとりひとりの色の集まりによって見えてくる。

熊本市
政策局 総合政策部 政策企画課

TEL:096-328-2035 FAX:096-324-1713

E-mail : seisakukikaku@city.kumamoto.lg.jp

